

# 農・工のものづくり回廊を支える 浜松三ヶ日・豊橋道路

Vol.  
7

## INFORMATION&NEWS ①

### ◆2県が連携し次のステップへ～初となる愛知県、静岡県への要望活動を実施

浜松三ヶ日・豊橋道路は愛知、静岡の2県に跨る自動車専用道路を想定しているため、これまで同盟会としては国に向けて早期実現を要望してきました。今回、要望活動の成果として国による調査が始められたことを受け、地元である愛知、静岡の両県にその効果と必要性を訴えるため、初となる両県への要望活動を実施しました。

平成27年8月12日(水)には、名古屋市中区にある愛知県公館を訪れ、大村秀章愛知県知事に同道路の早期実現につながる三遠地域調査の実施を要望しました。さらに、同年11月10日(火)には、静岡市葵区にある静岡県庁を訪れ、野知泰裕静岡県交通基盤部長らに愛知県との連携を強化し同道路の早期実現に向けた取り組みを要望しました。

要望活動には、吉川一弘会長のほか、佐原光一豊橋市長、山下政良田原市長など各地市町村長や商工会議所・商工会、JAの同盟会会員が参加。また愛知県での要望時には鈴木孝昌、峰野修、山本浩史、丹羽洋章の4愛知県議会議員が、静岡県での要望時には田内浩之静岡県議会議員が参加しました。

大村愛知県知事は「静岡県、浜松市とともに三遠地域における新たな連携軸に関する調査を進めている。連携軸と成り得るルート的位置、道路規格など具体的な調査を進めていきたい」と地元と一体となり早期実現に向け取り組んでいくことを約束しました。

野知静岡県交通基盤部長は「新東名の全線開通が間近となったので、次は重要な南北軸の一つとして浜松三ヶ日・豊橋道路整備を進めていきたい。現在、静岡県、愛知県、浜松市により新連携軸調査を国と呼応して進めている」と進捗状況を説明しました。



愛知県(写真左)、静岡県(写真右)に道路整備によるストック効果を説明

### 浜松三ヶ日・豊橋道路とは

東名・新東名、国道1号、名豊道路の東西軸を南北に連結し、かつ、沿岸部から中山間部への連携を強化するため、三遠南信自動車道と名豊道路(国道23号バイパス)を接続する南北方向の幹線道路。同道路の整備により、産業経済、地域連携、防災・災害対応に大きな効果が期待されます。

### 浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会

県境を越えた三遠地域の行政、商工会議所・商工会、農業協同組合の26団体(構成員名簿は本紙最終ページに記載)が一体となって、国への要望活動をはじめあらゆる手段を講じてその建設実現に向け取り組んでいます。本紙は当同盟会の機関紙として、同盟会の活動内容と同道路にまつわる最新情報をお伝えしてまいります。

## ◆より大きなストック効果を求めて ～三遠地域の未来づくりシンポジウムを開催～



三遠地域の自治体・商工会議所、三河港臨海企業団体からなる、三遠地域の未来づくりシンポジウム実行委員会が、平成27年11月2日(月)、豊橋市西小田原町にある穂の国とよはし芸術劇場プラットで、同シンポジウム(浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会は共催)を開き、官民、地域が連携してインフラ整備に取り組む『三遠地域の未来創生「連携」宣言』を採択しました。国や三遠地域の行政や経済団体、企業などから178名が聴講しました。

三遠地域においては、これまで地域企業と行政との意見交換により、官民一体となって道路・港湾等のインフラ整備を進めてきました。その結果、自動車産業をはじめとする多様なものづくり産業における生産性向上等のストック効果をもたらし、国際的な産業競争力の強化や地域の雇用の増進等、地方創生に寄与してきました。今後の輝かしい三遠地域の未来づくりのため、これまで三河港地域や西遠地域がそれぞれ取り組んできた官民連携の醸成を図り、地域企業等と地元自治体等による意見交換の場としてシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、先ず「三遠地域の道路・港湾インフラのストック効果と期待」をテーマとして、三河港地域や西遠地域の地元6企業等から、各企業が独自でとりまとめた資料を映写し、提言が発表されました。

道路や港湾の整備に関する「生の声」として、「これまでの三河港や名豊道路等の幹線道路の整備により、生産活動の各種物流においてストック効果が明確に発揮されている」、「早期の名豊道路全線開通、4車線化に期待する」、「浜松三ヶ日・豊橋道路の整備により高速道路への接続が改善され、関東方面への輸送ルートとして大きく期待する」などが披露されました。

続いて、地元企業からの提言を受け、「官民連携による三遠地域の未来づくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。コーディネーターに愛知大学地域政策学部教授で三遠南信地域連携研究センター長の戸田敏行氏を招き、豊橋、田原、浜松、湖西の4市長、豊橋、浜松商工会議所会頭により、地域が抱える課題の解決策について議論されました。

各パネリストからは、「道路や港などのインフラの連携した整備により企業誘致、雇用・労働力の確保、地域の利便性の向上を期待」、「官と民がインフラ整備によるストック効果を連携して発信し、地域整備を進めることが重要」、「行政境を越え、この地域で連携していくことが重要」などの意見が出されました。

コーディネーター

パネリスト



愛知大学  
戸田教授



豊橋市  
佐原市長

田原市  
山下市長

浜松市  
鈴木市長

湖西市  
三上市長

豊橋商工会議所  
吉川会頭

浜松商工会議所  
大須賀会頭

最後に、提言発表、パネルディスカッションの議論を踏まえ、本シンポジウムの成果として、今後の輝かしい三遠地域の未来創生のための『三遠地域の未来創生「連携」宣言』を採択し、「官と民の連携」「港湾と道路の連携」「地域の連携」の3つの連携により地域が連携して取り組んで行くことが宣言されました。

～三遠地域の未来創生「連携」宣言～

三遠地域の自治体・関係団体・地域企業等が丸となり、今後の輝かしい三遠地域の未来創生のため、自主的かつ積極的に、次の3つの連携を行うことを宣言します。

1. 官と民の連携

これまでの官と民が連携した、意見交換会や勉強会による効果として、ビジョン・課題を共有し、効率的・効果的なインフラ整備を進めてきたことを踏まえ、今後も官と民が連携して地域整備を進めます。

また、これらインフラ整備によるストック効果を連携して取りまとめ、発信します。

2. 港湾と道路の連携

港湾と道路ネットワークが連携して各拠点を効率的に結ぶことで、この地域の産業・人口の集積に対応した民需創生に資するストック効果が最大となるよう、物流効率化等のための連携した取り組みを進めます。

そのため、必要となるインフラとして、三河港ならびに新東名高速道路、三遠南信自動車道、国道1号バイパス、国道23号名豊道路、浜松三ヶ日・豊橋道路をはじめ地域の道路ネットワークの早期整備を国及び県に要請するとともに、地域が連携して、取り組みを推進します。

3. 地域の連携

モノづくり産業や農業等の高いポテンシャルを有する、三遠地域が連携し、一体となった地域を形成することで、日本全体を牽引する持続的な経済発展につながるよう、地域が丸となって連携して、三遠地域の未来創生に取り組めます。

以上、宣言します。

平成27年11月2日

※シンポジウムの内容をまとめたリーフレットを下記 URL からご覧いただけます。

<http://www.toyohashi-cci.or.jp/mikkabi/new/20151106.pdf>

上記URLのQRコードはこちら▶



シンポジウムとあわせて、三遠地域のものづくり企業、JA、観光協会等による産業PR展を同時開催

# 浜松三ヶ日・豊橋道路 沿線地域の声

## 田原臨海企業懇話会

### ▼ 組織概要紹介

当会は平成4年、臨海部の環境整備と会員相互の連携強化を目的に、田原臨海部に立地する企業68社で設立しています。

設立当初の活動としては、環境整備・美化活動や研修会の開催などを通じて、会員のスキルアップ、相互の親睦などを活動主体としていましたが、平成14年に東海地震の強化地域に指定されたことを受け、帰宅支援ルートマップの作成や企業版避難所の整備など企業防災活動にも積極的に取り組んでいます。

### ▼ 道路事情と課題解決に向けて

田原の臨海工業地帯は、東三河地域の工業地帯の中で最も高速道路に遠く、今でも工業地帯の最西端から最寄のインターチェンジまで1時間以上を要します。

これら道路諸課題を解決するため、三河湾明海

地区産業基地運営自治会と協力し、平成23年から「幹線道路意見交換会」を設け、直接の利用者である企業の道路に対する課題認識、併せて改善の検討・提案、さらには、官民協働による垣根を越えた意見交換を実施することにより道路環境の改善を図り、この地域の経済発展が一層推進されるよう活動を進めています。

### ▼ 浜松・三ヶ日道路への期待

関東方面へのアクセスについては、主に浜松インターを利用しますが、豊橋東バイパスの整備により約30分の時間短縮が図られました。しかし、依然として1時間30分以上の時間を要しており、加えて、新東名高速道路の利用についても大変不便な状況となっています。これらを改善すべく、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備は、企業のみならず地域住民からも大きな期待を寄せています。



幹線道路意見交換会の様子



田原の臨海工業地帯

発行：浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会 (平成28年1月31日現在)

浜松市・湖西市・豊橋市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村  
浜松商工会議所・奥浜名湖商工会・浜名商工会・新居町商工会・湖西市商工会  
豊橋商工会議所・新城市商工会・設楽町商工会  
東栄町商工会・津具商工会・豊根村商工会・田原市商工会・渥美商工会  
とびお浜松農業協同組合・三ヶ日町農業協同組合・豊橋農業協同組合  
愛知みなみ農業協同組合・愛知東農業協同組合 (順不同)

事務局：豊橋商工会議所 〒440-8508 愛知県豊橋市花田町字石塚 42-1 TEL 0532-53-7211  
URL <http://www.toyohashi-cci.or.jp/mikkabi/index.html>